

実習生から見た 駒場苑の取組み

サンシティ調布という有料老人ホームから入浴実習を5ヶ月間受け入れしました。

駒場苑の個浴移行の取組みをホームページで見たサンシティ調布の介護主任の橋口さんが、施設見学に来たことがきっかけです。

駒場苑としては自分の施設だけでなく全国の施設が個浴になって欲しいと願っています。そこで、見学だけではなく実際に体験してもらう実習という形でサンシティ調布さんの入浴実習を受け入れました。

今回、サンシティ調布の介護主任である橋口さんの実習を終えての感想を掲示します。

個浴の実習を受けて

サンシティ調布 橋口俊夫

駒場苑との出会いは同施設ホームページにて、「個浴への取組み」を拝見し、計画から導入、現在に至るまでの経緯を直接伺う機会を得たいと考え、同施設に問い合わせたところ快く機会を作ってもらいました。そこで坂野施設長補佐（兼特養主任）に施設見学とともに、質問形式で個浴導入のいきさつ、導入過程でのスタッフの不安や疑問の解消方法など詳しいお話を聞くことができました。

お話の中で、一番難しい点は、「入浴介助方法の技術浸透である」との指摘をもらったのと同時に「克服にはやってみる事が一番。当施設に研修に来てください。」との言葉を頂いた事から始まりました。

個浴にすることでの介助負担、時間的に長くなるのでは？という業務負担などマイナス部分の意見が多くありましたから、その問題を解決する上で、実体験でき、実際に入浴し

ている利用者さんの姿、介助しているスタッフの介助方法を生でみる、いい機会でした。5ヶ月にわたり、スタッフを受け入れてもらい個浴ってどんなものなのか生で感じる事ができました。

研修をしている中で、一番に感じた事は、スタッフが利用者さんの ADL に合わせて色々な介助方法を考えていて一人ひとりに合わせた気持ちの良い入浴方法を見つけている事でした。その結果、利用者さんの負担もなく笑顔で入浴している姿をみました。

また、時間に追われることなく、ゆっくりと利用者さんに合わせた入浴が出来ていることも感じました。そのことで、スタッフにも余裕ができスタッフの負担も少なくなったのだと思います。

そして私達の施設の利用者さんに合わせながらみていく中でサンシティ調布でもできる！と感じました。

現在サンシティ調布では、個浴導入の話はまだ進んではいません。

私の中では、研修で見た駒場苑の利用者さんのような笑顔をサンシティ調布でも見るために、ヒノキの香りがする個浴槽にゆっくり気持ちよく入浴できる様な個浴導入に向けて強い気持ちを持ち続けたいと思っています。

そして個浴を通じて知り合った機会を生かして、お互いの施設にとって良い事、悩んでいる事を情報交換しながら、お付き合いを続けていければと思っています。

今回、このような機会を与えてくれた駒場苑に本当に感謝しております。



(ピンクのシャツの方が橋口さんです)

駒場苑では見学や実習を積極的に受け入れています。

私たちの取組を多くの介護職員さんに知って頂くことで、全国の施設でお年寄りの笑顔が増えていくことを願っています！

また、他施設の情報を知ることで、駒場苑も更に前進していきたいと思っています！